

## はじめに

奈良県議会では、次代を担う高校生に県政や県議会の理解と関心を高めてもらふことを目的に、「奈良県高校生議会」を開催しています。

5回目となる今回は、県内6校から30名の高校生議員が参加し、住みよく魅力ある奈良県づくりについて、知事や県議会議員と意見交換をしました。

若者の政治離れが懸念されている今日、政治に興味を持ち、「知事や教育長に質問や提言をしたい」という高校生がたくさんおられることを大変うれしく思いますとともに、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、昨夏の参議院議員選挙で初めて投票に参加された高校生もおられる中、次代を担う高校生が政治への参加意識を更に向上させるという観点から大変意義深いことであると思います。

当日は、実際の県議会さながらに、議会運営委員会を開催し、本会議場では、高校生議員が自ら議長を務めるとともに、知事や教育長に県の政策について若者の視点から質問を行い、また、魅力ある奈良県づくりに向けた提言も行いました。さらに、意見交換会では、県議会議員と若者の政治参加などについて、自由に意見を述べ合いました。

高校生からは、「政治を身近に感じる事ができた」、「18歳になったら選挙に積極的に参加したい」、「未来のため若者が積極的に発言することが大切だと感じた」等の感想が寄せられ、高校生の率直な意見や熱い思いが伝わる高校生議会となりました。

今般、その記録をまとめました。本書を通して、奈良県議会をより身近に感じていただき、今後の議会の活動にご理解を賜れば幸いに存じます。

最後に、高校生議会を開催するにあたり、お忙しい中ご尽力賜りました各学校の先生方をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げます。

平成29年2月

奈良県議会議長 川口 正志